

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 市町村森林管理支援強化事業費（林政課）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 林政課 政策企画係 電話番号：058-272-8470

E-mail：c11511@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,725 千円 （前年度予算額： 7,665 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	7,665	0	0	0	0	0	7,665	0	0
要求額	4,725	0	0	0	0	0	4,725	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・平成 31 年 4 月に始まった森林経営管理制度は、森林所有者による適正な管理がなされていない森林を所有者に代わり市町村が管理する制度である。
- ・森林の持つ多面的機能を高めるためには、同制度の取組みを進め、早期に間伐等の森林整備の実施につなげることが必要だが、制度を推進する体制が整っていない市町村が多く、県の支援が不可欠である。
- ・また、森林資源を有効活用しつつ、地域の実状に合った区分（森林配置計画）により将来の望ましい森林の姿（100年先の森林づくり）へ誘導していくため、策定した森林配置計画を着実に実行していくための施業指針等を県が示す必要がある。

(2) 事業内容

- 1) 森林配置計画による区分ごとの施業指針策定に向けた調査研究
 - ・従前から設置している試験地の巡視・修繕を実施するとともに、各ゾーニングにおける指針案を検討する。
- 2) 100年先の森林づくりの啓発事業
 - ・森林づくりの必要性・重要性を広く県民普及するため、森林の多面的機能や将来の森林のあるべき姿について啓発を行うための小冊子等の作成を行い、市町村の取り組みが円滑に進むよう支援する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10 (市町村の支援を行うために譲与される森林環境譲与税を活用)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	960	報償費 960
旅費	69	業務旅費 37、費用弁償 32
需用費	1,310	消耗品費 1150、印刷製本費160
役務費	10	通信運搬費 10
工事請負費	620	工事請負費 620
委託料	1,756	試験地 巡視業務委託 776 効果検証調査業務委託 980
合計	4,725	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

1 森林づくりの推進

(1) 災害に強い循環型の森林づくり

(ウ) 森林経営管理法に基づく市町村による森林管理の支援

(b) 森林経営管理制度を推進するための支援

(2) 国・他県の状況

森林経営管理制度を推進するにあたり、県が市町村を支援することとされており、そのための財源として森林環境譲与税が譲与されている。

(3) 後年度の財政負担

県が負担する。(今後、継続的に譲与される森林環境譲与税を活用。)

(4) 事業主体及びその妥当性

1) 事業主体：県

2) 妥当性：森林経営管理法に基づく森林経営管理制度を市町村が推進するにあたり、県が支援することとされており、妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・令和元年度から始まった森林経営管理制度では、市町村が中心的な役割を担うことになるが、専門的知識をもった林務担当職員等の体制が十分ではない市町村が多いため、県が支援を行うことにより、円滑な制度の推進を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①意向調査着手 市町村数	6	34 (累計)	34 (累計)	34 (累計)	34 (累計)	100%
②市町村による 間伐面積	25	642	598	2800	3500	18%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域森林管理支援センターの機能強化 従前の取組に加え、市町村林務担当職員研修と地域森林監理士短期支援業務を同センターで実施し、市町村への支援を強化した。 ・森林疎密度情報の解析 航空レーザ測量データから森林の疎密度を解析し、過密状態である森林を早急に間伐が必要な森林として、市町村へ提供した。（令和4年度で完了） （成果） ・同制度に対する取組みが促進され、森林のある34市町村全てで意向調査に着手した。（令和4年度は2市が新規で意向調査に着手）
	指標① 目標：意向調査着手 32市町村 実績：34市町村 達成率：106%
	指標② 目標：市町村による間伐面積 800ha 実績：577ha 達成率：72%
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域森林管理支援センターの機能強化 従前の取組に加え、当センターや岐阜県地域森林監理士などと連携しながら、市町村による森林所有者の意向調査の実施や、経営管理研修席計画の策定などの取組みを支援した。 （令和4年度に森林のある34市町村全てで意向調査に着手済） （成果） ・間伐面積の目標値を下回っているものの、市町村による手入れが行き届いていない森林の解消に向けた取組みが進みつつある。
	指標① 目標：意向調査着手 34市町村 実績：34市町村 達成率：100%
	指標② 目標：市町村による間伐面積 1400ha 実績：642ha 達成率：39%

令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域森林管理支援センターの機能強化 従前の取組みに加え、当センターや岐阜県地域森林監理士などと連携しながら、市町村による森林所有者の意向調査の実施や、経営管理研修席計画の策定などの取組みを支援した。 (令和4年度に森林のある34市町村全てで意向調査に着手済) (成果) ・間伐面積の目標値を下回っているものの、市町村による手入れが行き届いていない森林の解消に向けた取組みが進みつつある。
	指標① 目標：意向調査着手 34市町村 実績：34市町村 達成率：100%
	指標② 目標：市町村による間伐面積 2100ha 実績：598ha 達成率：23%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	<ul style="list-style-type: none"> ・森林経営管理制度が始まったが、市町村においては林務担当職員の不足や林業の専門知識がある職員がいない等、制度を円滑に実施できない状況にある。 ・森林経営管理制度での県の役割は、市町村の支援とされており、県が支援をするのは妥当である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	<ul style="list-style-type: none"> ・支援センターにや岐阜県地域森林監理士による市町村支援により、森林のある全ての市町村が意向調査に着手した。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村の総合的な支援を一元的に担うセンターを設置することにより、必要なノウハウが蓄積され効率的に事業を実施できている。 ・施業指針策定に向けた調査研究において試験地の巡視を外部へ委託することにより、効率的に事業を実施できている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・森林経営制度の運用が本格化する上で、増大する市町村事務の担い手が不足している。 ・森林所有者の特定や土地の境界確認に時間を要し、森林整備に至るまでに長期間を要する市町村が多い。
--

(次年度の方向性)

<p>森林経営管理制度を円滑に推進していくためには、市町村への支援や森林所有者の本制度への理解が必要であるため、引き続き実施する。</p>
